

えがおのローソク

映画上映会 & 加藤さくらさんのトークライブ



生後6か月の我が子への余命宣告。あなただったら、この現実をどう受け止めますか？

松戸市に住む加藤一家の三歳の次女、真心(まこ)ちゃん。

生後六ヶ月で福山型先天性筋ジストロフィーと診断。

小学校低学年をピークに筋力が衰え、自分で歩くことは困難になる。また成人するまで生きられない子も多い。

今は天使のように愛くるしい彼女が成長に伴って病気も進行してゆく。

未来でも過去でもない。今を一生懸命に生きることを決めた加藤一家の物語。

2014年12月7日(日)

【時間】 開場 13:30、開演 14:00、終了 16:00

【会場】 川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)
多目的室

【定員】 40名

【申込】 メールにて先着順に受付(詳しくは裏面を参照)

【参加費】 大人500円、子ども200円(中学生以下)

主催：川崎の親子を考える会

共催：ビーンズネット

- ◆この事業で知りえた個人情報、事業の実施のためだけに使用します。
- ◆「川崎の親子を考える会」の市民企画事業の参加は、今年で14回目となります。
- ◆「親業」は、親と子、人間関係の効果的なコミュニケーション方法を学ぶプログラムです。



お申し込み／お問い合わせ

◆メールまたはWebサイトからお申し込みください。

メールアドレス：kawaoya@k07.itscom.net

Webサイト：<http://kawaoya.blog.fc2.com/>（申込フォーム）

* 緊急の場合は、090-4135-9882（金子）

◆メールには、①氏名、②住所、③電話番号、④参加人数(大人、子ども(年齢))を明記してください。

◆メールの受領が確認できましたら、こちらから折り返しご連絡いたします。

3日たっても連絡がない場合は、お手数ですがもう一度お申し込みください。



加藤さくら(親業訓練インストラクター)

日本メンタルヘルス協会心理カウンセラー。ふくやまっこ家族の会スタッフ。雑穀GUIDE・ナチュラルフードコーディネーター。二児の母。長女が生まれて『親業』のプログラムに出会い、次女が福山型先天性筋ジストロフィーであることをきっかけに、親業インストラクターとして活動を開始。「子どもの幸せはまず親の笑顔から」がモットー。
ブログ：<http://ameblo.jp/sakurakato/>

この作品の監督紹介：蛭原やすゆき

約90社を超える企業の映像制作や、短編映画の制作を手掛けている。企画・演出・撮影・編集までオールマイティーにこなし、劇場公開作品「いのちのコール〜ミセス インガを知っていますか〜」を監督。

会場のご案内



◆すくらむ21◆

川崎市高津区溝口2-20-1

TEL：044-813-0808

FAX：044-813-0864

JR南武線

「武蔵溝ノ口駅」下車

北口 徒歩10分

東急田園都市線・大井町線

「溝の口駅」下車

東口 徒歩10分

